

運行とコース

ねぶた祭は青森市全体を代表する年中行事。期間中には道路封鎖で車の通行が止められ、市内中心部からは車がなくなり、ねぶた行列のルートが確保されます。ねぶた山車が通りに運ばれた後、夜の運行（8月2～6日）は午後7時10分から、昼間の運行（8月7日）は午後1時から始まります。ねぶたはおよそ2時間かけてルートを1周した後、次の運行に備えて引っ込みます。ルートの全長は3キロに及び、青森の中心部にある4つの道路を通ります。

ルート上にあるのは平和公園通り、国道4号、八甲通り、新町通りです。国道4号と新町通りはいずれも大通りで、それぞれ独自の雰囲気があります。国道4号は役所の建物が並ぶ広い大通りで、ねぶた山車、跳人、お囃子衆など祭りの参加者が道を通る様子が見られます。一方の新町通りは小さな商店街ですが、ねぶた山車を間近で見られるスポット。引き手がねぶた山車をここまで運び、片側に傾ければ、雄大なねぶたをごく間近で鑑賞できるのです。

夜の運行では、ルートに沿って事前にねぶた山車を並べます。先頭のねぶたは平和公園通りと新町通りの交差点近くに置かれます。運行の開始の合図には花火が使われ、色鮮やかな花火と共にねぶたが一斉に出発します。8月7日の昼間の運行では、全てのねぶた山車が新町通り沿いから行進を始めます。

通常は全てのねぶた山車がルートを1周すれば終了となりますが、その前に予定時間をオーバーすることがあります。なのでねぶた山車を全て見たい場合は、ルートに沿って歩くことをお勧めします。道沿いの屋台で売っている食べものもぜひ食べてみてください。

有料の指定席も利用できます。場所は主に国道4号線と八甲通り沿いですが、早いうちに到着できれば、無料で立ち見できる場所や座って見られる場所を簡単に見つけられます。青森駅近くの2つの交差点は特に混雑しがちなので注意してください。ねぶた行列は雨が降っても開催されます。必要に応じてねぶた山車は透明なビニールシートで覆われます。